

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会参画事業			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部
	施策	4	地域福祉の推進		所属課	福祉課
	業務分野	15	社会福祉の推進		所属班	社会福祉班
課長名		松永 博貴		担当者名		松本 嘉奈恵
内線		1152				
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	3	1	1	10859	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	全国のハンセン病療養所が所在する12の市町で構成された協議会であり、協議会に参画することにより療養所が抱える諸問題を協議し情報交換を行う。昭和48年に全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会が発足と同時に開始。平成8年4月1日「らい予防法の廃止に関する法律」の施行に伴い、入所者への偏見が無くなる事が期待されたが、平成15年熊本県黒川温泉にて入所者の宿泊を拒否する事件が発生し、その対応に恵楓園入所者に対し誹謗中傷の手紙や電話が相次いだ。入所者への偏見は根強く残っており、高齢となった入所者への誠意ある対応と市民への啓発を継続的に実施する必要がある。平成19年度に中山節夫監督作品「新・あつい壁」を実行委員会主催で12回上映会実施。平成21年4月1日より「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」施行。平成22年7月8~9日で合志市主催で本協議会総会を開催した。平成28年度は静岡県御殿場市、平成29年度は青森市、平成30年度は沖縄県名護市で開催。平成31年度7月は宮城県登米市で開催済。令和2年度の総会は東京都東村山市で開催予定だったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(書面決議)となった。令和3、4年度もコロナウイルス感染拡大防止のため総会は書面決議となり、意見交換会をオンラインにより開催した。令和5年度は群馬県草津町で開催、令和6年度は本市で7月11日12日に開催した。
【業務の流れ】	事務局(東村山市)から総会の開催通知を受理②市長、議長、健康福祉部長へ通知を回覧し、旅費を計上する③交通機関及び宿泊先の申込みを行う④総会資料を回覧、保管する⑤協議会への負担金の請求書受理⑥支払手続を行う。令和6年度は開催地のため、開催地事務を行う。
【主な予算費目】	普通旅費・負担金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

全国ハンセン病療養所が所在する全12の市町で構成された協議会であり、協議会に参画し、療養所が抱える諸問題を協議し、情報交換を行うもので、令和6年度は7月11日12日に本市で開催された。また、菊池恵楓園の将来構想実現に向けた協議会を書面開催した。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会(宮古島市開催予定)に出席する。また、菊池恵楓園の将来構想実現に向けた協議会を開催する。

③予算の主な増減の理由

令和6年度は全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会が本市開催地であったため、補助金の減

成果指標

ア 総会における議題の議決度

(単位)

データ取得方法

→イウ

%

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
事業費	財源内訳									
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
一般財源	千円		511	1,416	1,190	158	158	158	158	
(A)事業費計	千円		0	511	1,416	1,190	158	158	158	158

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

ハンセン病療養所を有する自治体として、関係所在市町で組織する協議会の副会長市として、会長市と連携を図りながら参加できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)